

「ちきゅうあいさつ」

まど みちお

朝だ 日曜日だ  
あさ にちようび

見上げる 日本ばれの空！  
みあ にほん そら

の 下のこの地めんは  
した じ

どんなにはろばろ ひろがって行って

ぼくの 後へと めぐってきているのか  
うしろ

ぼくの見もしらない  
み

どんなに 数かぎりない生き物たちを だきかかえて・・・  
かず いもの

生まれてこい！ ぼくの中から・・・  
う なか

ウグイスのホウホケキョーのような「ちきゅうあいさつ」よ！

それを「ちきゅうもじ」で かいて かいて かいて

美しい「ちきゅうきって」も  
うつく

この手で作って はって はって はって  
て つく

千まい 万まい ハガキにして  
せん まん

海山 なん万キロ ひとつとび  
うみやま まん

ゆうびーん！

どこかの知らない 人間の子に  
にんげん こ

どこかの知らない けものの子に  
こ

どこかの知らない 虫の子に  
むし こ

どこかの知らない 魚の子に  
うお こ

どこかの知らない 鳥の子に  
とり こ

どこかの知らない 木の花に  
き はな

どこかの知らない 草の芽に  
くさ め

ゆうびん

ゆうびん

ゆうびーん！